

常陸太田ロータリークラブ

HITACHI-OTA ROTARY CLUB

R I 第2820地区

No.13834

(1960年1月13日設立)



R I 会長方針



会 長 塩原 吉博
 例 会 場 常陽銀行太田支店2F
 例 会 日 毎週水曜日/12:10~13:10
 最終例会18:30 レストランばんび
 会報委員 鹿志村 勇夫・篠原 啓一・木村 幸裕

(先週例会) 2018年6月20日 NO. 37

(本日例会) 2018年6月27日例会 (通算NO. 2843)

本日のプログラム(6月27日)

- ◎ 会長タイム
- ◎ 幹事・副幹事報告 ◎ 委員会報告
- ◎ 引継ぎセレモニー

◎ 移動例会 鶺の岬にて

◎ 会長タイム (塩原吉博会長)

こんばんは。1年間を振り返ってみますと、大谷社会奉仕委員長の思い入れで食育の講演会という新たな事業ができたり、テニス大会での生徒さんのスタッフを入れての運営、何年か越しでできた特別支援学校でのコンサート、など思ったことが少しずつはできたのかなと思います。これも岩間幹事を始めとして各委員長さん、皆様のご協力のお蔭だと心より感謝申し上げます。

やり残したと気付いたのは「会員満足度アンケート」です。クラブの成長を客観的な指標として出すとか問題点を掘り起こすとかいう意味で、同じ質問を毎年やっている中で確認して行くという意味合いがあると思います。満足度というのは前から疑問には思っているのですが、基本的には期待値との差が満足度なんですね。期待値というのはかなり客観性を欠くのではないかと思います。ここ「鶺の岬」は、人気ランキング全国NO. 1で、

お客さんの満足度が高く、リピーターも多いから稼働率も高いのだと思います。以前読んだ雑誌に書いてありましたが、一番クレームが多いホテルは帝国ホテルだそうです。それは期待値が高いからです。ほんの少しのミスが不満につながります。絶対的な素晴らしさというよりは期待値との差というところで難しいものだと思います。私も年齢とともに考え方が変遷して、期待値をコントロールして満足度を高める(「足るを知る」)のも重要かなと思います。期待値をあまりにも高く持ちすぎると、常に不満や挫折感が残るようになります。個人的にはいろいろ経験してきた中で満足度を上げるためには、自分に対しての期待値をコントロールして、健全な喜びや幸福感を味わいながら成長して行けるところを探るという時期に来たかと思っています。今年1年間やらせてもらって、皆さんの評価は別として、自分としてはほぼ満足できた1年になったかと思っています。逃げずにやって良かったというのが実感です。

◎ 幹事報告 (岩間幹事)

本日は慰労会を開催していただきましてありがとうございます。また、私の都合でゴルフの日程を変更していただきまして申し訳ありません。必ずいい成績を残したいと思っています。

1年間あっという間に過ぎました。初めは塩原

会長のもとで私に幹事が務まるかとすごく不安でした。しかし、会長は私の仕事をよく理解してくれて何度も助けていただきました。今となれば、塩原さんでなければ幹事はできなかったかと思えます。いろいろサポートをしていただいていた何とか1年間終えることができます。皆様方のサポートにも感謝いたします。

① 事業報告書の提出をお願いします。

◎ 副幹事報告（石川副幹事）

次年度事業計画の提出ありがとうございました。

◎ ニコニコボックス（小倉委員長）

共通テーマ

「塩原会長、岩間幹事1年間お疲れ様でした。ありがとうございました。」

自由テーマ

「出席できなくて残念です。」 鹿志村

今週計 (次週発表)

累計 (次週発表)

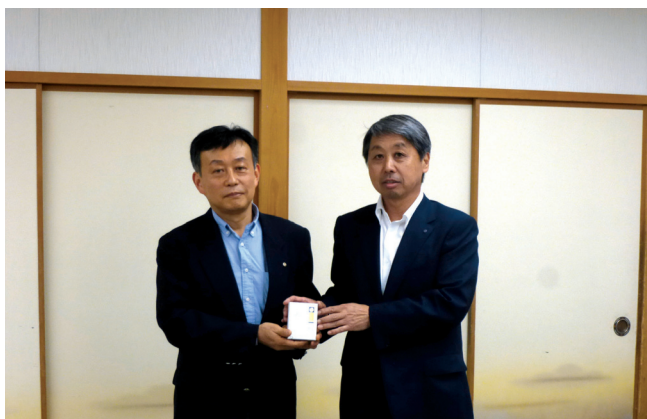
◎ 出席委員会報（中郡委員長）

全会員数	出席者数	免除者欠席数	出席率
33名	一名(mu-)	一名	100.0%

前週訂正出席率 --.-%(メイクアップ 一名)



慰労会の開会



橘次年度より塩原会長へ記念品贈呈



塩原会長挨拶



橘次年度より岩間幹事へ記念品贈呈



岩間幹事挨拶



橘次年度より大森ガバナー補佐へ記念品贈呈